



山下 巧 議員

令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果から見える高島市の教育のあり方について

問

市内小中学校の問題行動・不登校に関する件数の推移はどうか

答

暴力行為およびいじめの認知件数、不登校児童生徒の在籍率は全国的な推移と同様に増加傾向です

問 市内小中学校の問題行動・不登校に関する件数の推移はどうか。

答 教育指導部長

本市の暴力行為の件数およびいじめの認知件数は、全国的な推移と同様に、平成30年度から令和4年度までは全体的に増加傾向にあります。

不登校児童生徒の在籍率も全国的な推移と同様の増加傾向にあり、令和4年度の在籍率は、全国や県と同程度の小学校で約2%、中学校で約6%です。

問

多様な居場所を確保するための場所・人材不足の懸念について伺う。

答

教育指導部長

現在、不登校児童生徒の在籍率が増加傾向にあることを踏まえて今後も継続的な相談、指導の充実を図るとともに、個別の状況に応じて今後開設される「第三の居場所」等を含め、多様な居場所づくりのため関係機関との連携に努めます。

※第三の居場所

様々な体験活動や交流などを通して生活や学習習慣などを

問

市内小中学校の問題行動・不登校に関する件数の推移はどうか

暴力行為およびいじめの認知件数、不登校児童生徒の在籍率は全国的な推移と同様に増加傾向です

答 子ども未来部長

身に付けることを目指し、自宅や学校以外に存在する、子どもたちが安心して過ごせる場所

問 フリースクールとの連携について伺う。

答 教育指導部長

不登校児童生徒一人ひとりの状況に応じて、学級以外の他の教室を使つてのサポートやICTを活用した学習支援、教育支援センターやフリースクール等の民間施設との連携など、効果的な支援の充実を図っています。

民間のフリースクールで

